離島地区「町政懇談会」を開催

8月20日～21日、両島の研修センターにおいて、町政懇談会を開催しました。天売地区20名、焼尻地区22名のみなさんが参加、町からは町長はじめ、課長など11名が出席しました。島の暮らしに関わる事項などを意見交換の一部（要旨）をご紹介します。

はじめに町から、「地域おこし協力隊について」（天売地区）、「離島交流事業等について」（両地区）の説明など離島地区に関わりの大きな事項について説明の後、意見交換を行いました。

（◆印は参加者の発言内容、▼印は町長他、町の発言内容です。掲載の都合から、発言の内容は一部編集して掲載しています。）

天売地区

◆急病人が出た時に、ドクターヘリ、防災ヘリ、自衛隊ヘリが患者搬送のために島に来るが、来るまでに打ち合わせや天候調査などで時間がかかる。自衛隊ヘリは千歳から来るということだが、留萌の自衛隊から来ることはできないのか？

▼ヘリコプターが飛行可能かどうかを判断するため天候調査を必ず行う必要があり、要請してすぐに来るということにはならない状況です。また、夜間などでドクターヘリが飛ばない場合、順次飛べるヘリコプターを探していきます。ドクターヘリ以外は24時間体制で対応するため、留萌駐屯地はその対応ができないことから来ることはありません。

◆ドクターヘリではない場合、島の医師がヘリへ同乗する場合があるが、天候により島に戻られない日が続いた場合、医者がいない状況になる危険があると思う。

▼ドクターヘリ以外は基本的に救急患者を搬送することが目的であるため、医師、看護師が同乗してきませんが、搬送途中で何かあった場合のことを想定して、医者等を同乗させることになっています。受入れ先病院の医師を乗せて来ることもありますが、受入れ先病院の体制により都合がつかず現地の医師等が同乗する場合もありますので、できるだけそのような状況にならないように取り組んでいるところです。

◆島に空き家がたくさんあって、台風時期が来て強風などで鉄板が飛んだりして危ないことについてどのように考えているか？持ち主を探して解体等について促したりすることが必要だと思う。

▼町の中には不在の所や廃屋がたくさんあります。危険防止などのため本来所有者が手を掛けるべきですが、そのままになっている状況がほとんどで、特に危険度の高い建物については、持ち主を確認し状況を理解していただくということ、また、特に島のあり方を考える中ではこの問題は出てくるし、景観だとか美観だとかというところにも関わってくることなので行政が動かなければならないところではないかと思います。

◆猫対策について、多少減ったと感じる程度でしかないと思うんですがどうでしょうかね？また、猫対策を行っている一方で餌をやっている人や生ごみの放置によって餌になっている状況もあるので、意識を変えなければならないと思う。

▼今行っている対策は、減らすということよりも避妊、マイクロチップによる情報収集や野良猫の順化等により増やさないようにしている状況です。また、猫の飼養条例をつくりまして住民、役場、飼い主それぞれの責務を決めることで、意識を変えることも必要ですし行政としてはそれに向けた啓蒙も必要なのかなと思います。

◆富磯の道路について、教員住宅と防火水槽の間の道路が大雨が降ると砂利が道路（道道）まで流れてきてしまう。排水も良くないので考えてほしい。また、同じ場所でヤチダモの木が民家のすぐそばから山に向かって生えていて、台風等が来て倒れた場合、家を直撃する危険性があるため半分くらい伐採してもらえないだろうか。

▼現地をみてどのようにすれば抜本的に直るのか状況を確認します。

焼尻地区

◆オンコ荘の踏みつけについて、敷いているチップの一番深い所はどれくらいの深さなのでしょうか？また、国定公園なので、北海道や国の予算は使わないのでしょうか？

▼今年の5月に羽幌で作っているチップを持ち込み敷設しました。チップの深さはここでは分かりませんが、今ご指摘のとおり今後の管理の関係につきましては、改めて国定公園ということでの考え方も含め国などと協議をしていきたいと思います。

◆70歳以上の方に温泉優待の葉書をいただくのですが、日にちが1週間だとか10日間だとか限られているので利用できません。日にちがいつでもいいとはならないのですか？

▼アンビックス（サンセットプラザ）と期間を決めて実施しています。現在は期間を決めて実施していますが、島の方の事情を考えると期間が短いように思いますので、島の方の期間については実施できるかどうかは別として検討させていただきます。

◆観光客に話を聞いたら焼尻を歩いて見て周ったら非常によかったと聞きました。島を見てもらうには歩いて見てもらうのが一番いいと思います。そういったよい所のＰＲをもっと行ってもらいたい。もうちょっと、焼尻の人が観光客に対してもっと声をかけてあげるような感じでいったらいいのではないかと思います。

▼フットパスのことでいえば、天売には林業関係で整備をして歩ける小道があります。それで、来年に天売で全道フットパスの集いの開催誘致を検討していまして、そういう団体にぜひ焼尻にも来てもらい歩けるフットパスのラインみたいなところをガイドしてぜひ焼尻のＰＲも進めていきたいなと思います。

◆めん羊まつりが年々盛り上がらない状況になっている印象があります。町からの助成を受けて実施している事業でもあるため、窓口を観光協会だけではなくて、次年度の計画などに島民の意見をもっと反映できるようにしてほしいと思います。

▼島民みんなでつくる新たなお祭りにつくり直す手法も検討していい時期に差し掛かっているような気もします。そのため、これからどの手法でめん羊まつりを進めるのか焼尻支部の方と相談しながら検討していきたいと思います。

◆離島振興計画について、進捗状況について教えていただきたいと思います。

▼国の事業で離島活性化交付金という事業があって、島で水揚げされた魚関係に対する補助金を国と町から出して利用者の負担を軽減している事業を3年間予定しています。また、島に来るきっかけづくりを行いたいということで先ほど説明した事業（離島交流事業等）を行うですとか、天売・焼尻セットでＰＲしていきたいということで、いろんなイベントに参加して行政だけではなくて島民のみなさんにもいろんな地域を見ていただきながら自分たちの島づくりを知っていただけたらと考えています。今、天売島でエコアイランド事業に取り組んでいるんですが、いずれは焼尻島も含めてエコに対する取り組みを行っていきたいと考えておりまして、今年は焼尻小中学校の子どもたちを対象にエコの学習を行う予定で考えています。ハード事業の方が分かりやすいかもしれませんが、現状では人材交流だとか人を活かしていくことの方が大事であると感じ進めています。

◆ＩＰ電話なんでが、削除されていない情報がたくさんあり、そのほとんどがフェリーの情報であるため、年をとっていると自分では消すことができず、1年分残っています。町からの情報の場合は保存期日を設定していると思うんでが、同じように設定してもらえないでしょうか？

▼調整させていただきます。

◆フェリーターミナルの中に観光の写真とかを飾ったりあのスペースを有効に使ったらいいと思います。島の歴史（資料館にある古い写真など）を観光ＰＲみたいに展示してあれば歴史が好きな人も来てくれるんではないかなと思いました。

▼羽幌のフェリーターミナルには天売焼尻それぞれイメージ作りのため写真を飾っています。来年はその今の壁の反対側にもうワンセットずつ写真を飾ろうと考えています。天売焼尻それぞれのフェリーターミナルについては考えてはいないんですが、どのような展示方法がいいのか考えさせてください。できるだけ来シーズンに間に合わせていきたいと思います。

※両島での意見交換の主な内容は、羽幌町ホームページに掲載しますのでご覧ください。

お問い合わせ
総務課広報広聴係
☎ 62・1211